

2006年1月から2010年12月までに

食道癌の治療を受けられた方へ

当センターでは下記の臨床研究を実施しています。この研究の詳細についてお知りになりたい方は、問い合わせ担当者まで直接お問い合わせください。

なお、この研究の研究対象者に該当すると思われる方の中で、ご自身の情報等をこの研究に使ってほしくないと思われた場合にも、問い合わせ担当者までその旨をご連絡下さい。

●研究の名称

表在型食道扁平上皮癌の転移リスク因子に関する臨床病理学的検討

●研究の対象

2006年1月～2010年12月に食道扁平上皮癌で治療を受けた方

●研究の期間

承認後から2022年3月まで

●研究の目的

内視鏡的治療を施行した表在型食道扁平上皮癌において、追加切除すべきか否かを評価するための病理組織学的リスク因子を明らかにする。

●研究の方法

日本食道学会病理組織検討委員会が企画・実施する多施設共同による後ろ向き観察研究である。

上記期間のうちに外科的に切除された症例および内視鏡的切除され10年間適切に経過観察された症例を対象とし、表在型食道表在癌の病理組織標本を見直し、癌の浸潤様式、壁深達度、リンパ節転移の有無を検討し、統計学的に解析しリスク因子を見出す。解析にあたっては、通常の診療の中で得られる診療情報や病理学的検査の情報を、個人を特定できない形で記入表に記載し、当センターへ送付していただきます。

●研究に使用する試料・情報

研究対象者背景（性別、年齢、等）、病理検査結果、臨床経過（リンパ節転移の有無を含めた転帰を含む）を情報として収集します。

キーとなる組織標本（HE染色、弾性線維染色、D2-40免疫染色）は必要に

研究-参考書式 2

応じて、病理組織検討委員会で中央診断するために会議に持ち寄ることを想定しています。

●情報提供の方法

作成された調査票は、東京都健康長寿医療センター病理診断科新井に郵送されます。

データの提供は、特定の関係者以外がアクセスできない状態で行います。対応表は、各施設の委員が保管・管理します。

●研究組織

統括

東京都健康長寿医療センター病理診断科 新井 富生

非営利特定法人日本食道学会病理組織検討委員会参加施設

昭和大学横浜市北部病院病理診断科 根本 哲生

PCL JAPAN 病理・細胞診センター 大倉 康男

国立病院機構大阪医療センター臨床検査科 眞能 正幸

順天堂大学医学部人体病理病態学 八尾 隆史

がん研究会有明病院病理部 河内 洋

新潟県立がんセンター新潟病院病理診断科 渡邊 玄

滋賀医科大学分子診断病理学 向所 賢一

京都第一赤十字病院病理診断部 柳澤 昭夫

埼玉県立がんセンター病理診断科 神田 浩明

東北大学病院病理診断科 藤島 史喜

虎の門病院消化器内科 布袋 屋修

●資料の入手または閲覧、開示

この臨床研究の計画や方法については、あなたのご希望に応じて閲覧ができます。あなたが研究結果を知りたいと希望される場合は、研究担当者にその旨をお伝えいただければ、他の研究対象者に不利益が及ばない範囲内で、研究結果をお伝えします。希望された資料が他の研究対象者の個人情報を含む場合には、資料の提供または閲覧はできません。

●お問い合わせ先

〒173-0015 東京都板橋区栄町 35 番 2 号
 東京都健康長寿医療センター 病理診断科
 電話 03-3964-1141（内線 2410）
 連絡先：新井 富生（9：00～17：00）